

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成21年7月9日(2009.7.9)

【公開番号】特開2008-148320(P2008-148320A)
 【公開日】平成20年6月26日(2008.6.26)
 【年通号数】公開・登録公報2008-025
 【出願番号】特願2007-318841(P2007-318841)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 7/173 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/173 6 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月26日(2009.5.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ユーザーの現在地に対応する位置座標データを取得し若しくは受信するための現在地取得等手段と、

前記の取得もしくは受信されたユーザーの現在地に対応する位置座標データと、「予め所定の記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データであって、『複数の場所もしくは地点の実況映像をそれぞれ取得するための各実況映像取得手段』がそれぞれ実況映像を取得する対象としている各場所もしくは地点又は前記各実況映像取得手段がそれぞれ配置されている各場所もしくは地点に対応する複数の映像対象位置座標データ」とを、互いに比較もしくは照合するための座標データ比較等手段と、

前記比較もしくは照合の結果に基づいて、「前記記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データ又はこれらにそれぞれ対応する実況映像識別データ」の中から、「ユーザーの現在地の近傍に存在する一つ又は複数の場所もしくは地点を示す映像対象位置座標データ又はこれに対応する実況映像識別データ」を抽出もしくは特定するための抽出等手段と、

「前記抽出もしくは特定された『一つ又は複数の場所もしくは地点の映像対象位置座標データ又はこれに対応する実況映像識別データ』に対応する、一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像」又はこの実況映像を識別するための実況映像識別データ（この実況映像識別データは前記映像対象位置座標データそのものであってもよい）を、出力もしくはユーザー側に送信するための実況映像等送信等手段と、
 を備えたことを特徴とする略リアルタイム映像提供システム。

【請求項2】

ユーザーの現在地に対応する位置座標データを取得し若しくは受信するための現在地取得等手段と、

前記の取得もしくは受信されたユーザーの現在地に対応する位置座標データと、「予め所定の記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データであって、『複数の場所もしくは地点の実況映像をそれぞれ取得するための各実況映像取得手段』がそれぞれ実況映像を取得する対象としている各場所もしくは地点又は前記各実況映像取得手段がそれぞれ配置されている各場所もしくは地点に対応する複数の映像対象位置座標データ」とを、互いに比較もしくは照合し、その結果に基づいて、「前記記録手段に記録されている複数の

の映像対象位置座標データ又はこれらにそれぞれ対応する実況映像識別データ」の中から、「ユーザーの現在地の近傍に存在する一つ又は複数の場所もしくは地点を示す映像対象位置座標データ又はこれに対応する実況映像識別データ」を抽出もしくは特定するための抽出等手段と、

「前記抽出もしくは特定された『一つ又は複数の場所もしくは地点の映像対象位置座標データ又はこれに対応する実況映像識別データ』に対応する、一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像」又はこの実況映像を識別するための実況映像識別データ（この実況映像識別データは前記映像対象位置座標データそのものであってもよい）を、出力もしくはユーザー側に送信するための実況映像等送信等手段と、
を備えたことを特徴とする略リアルタイム映像提供システム。

【請求項 3】

ユーザーの現在地に対応する位置座標データを取得し若しくはサーバー側へ送信するための現在地送信等手段と、

サーバー側において「『複数の場所もしくは地点の実況映像をそれぞれ取得するための各実況映像取得手段』により取得された複数の実況映像」から抽出もしくは特定された「『一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像』又はこの実況映像を識別するための実況映像識別データ（この実況映像識別データは前記映像対象位置座標データそのものであってもよい）」であって、サーバー側において、「前記記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データ又はこれらにそれぞれ対応する実況映像識別データ」の中から、前記ユーザーの現在地に対応する位置座標データと「予め所定の記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データであって、『複数の場所もしくは地点の実況映像をそれぞれ取得するための各実況映像取得手段』がそれぞれ実況映像を取得する対象としている各場所もしくは地点又は前記各実況映像取得手段がそれぞれ配置されている各場所もしくは地点に対応する複数の映像対象位置座標データ」とを互いに比較もしくは照合することにより抽出もしくは特定された、「ユーザーの現在地の近傍に存在する一つ又は複数の場所もしくは地点を示す映像対象位置座標データ又はこれに対応する実況映像識別データ」に対応する、「一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像」又はこの実況映像を識別するための実況映像識別データ（この実況映像識別データは前記映像対象位置座標データそのものであってもよい）」を、前記サーバー側から受信するための実況映像等受信手段と、

前記実況映像等受信手段により受信された情報に基づいて、前記現在地の近傍に存在する一つもしくは複数の実況映像を表示するための実況映像表示手段と、
を備えたことを特徴とする略リアルタイム映像提供システム。

【請求項 4】

ユーザーの現在地に対応する位置座標データを取得し若しくはサーバー側へ送信するための現在地送信等手段と、

サーバー側において「『複数の場所もしくは地点の実況映像をそれぞれ取得するための各実況映像取得手段』により取得された複数の実況映像」から抽出もしくは特定された「『一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像』又はこの実況映像を識別するための実況映像識別データ（この実況映像識別データは前記映像対象位置座標データそのものであってもよい）」であって、サーバー側において、「前記記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データ又はこれらにそれぞれ対応する実況映像識別データ」の中から、前記ユーザーの現在地に対応する位置座標データと「予め所定の記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データであって、『複数の場所もしくは地点の実況映像をそれぞれ取得するための各実況映像取得手段』がそれぞれ実況映像を取得する対象としている各場所もしくは地点又は前記各実況映像取得手段がそれぞれ配置されている各場所もしくは地点に対応する複数の映像対象位置座標データ」とを互いに比較もしくは照合した結果に基づいて抽出もしくは特定された、「ユーザーの現在地の近傍に存在する一つ又は複数の場所もしくは地点を示す映像対象位置座標データ又はこれに対応する実況映像識別データ」に対応する、「一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像」又はこの実況映像を識別するための実況映像識別データ（この実況映像識別データは前記映像対象位置座標データ

そのものであってもよい)」を、前記サーバー側から受信するための実況映像等受信手段と、

前記実況映像等受信手段により受信された情報に基づいて、前記現在地の近傍に存在する一つもしくは複数の実況映像を表示するための実況映像表示手段と、
を備えたことを特徴とする略リアルタイム映像提供システム。

【請求項 5】

ユーザーの現在地に対応する位置座標データを取得もしくは受信するための現在地取得等手段と、

ユーザーの目的地に対応する位置座標データを取得もしくは受信するための目的地取得等手段と、

前記現在地に対応する位置座標データと前記目的地に対応する位置座標データとに基づいて、『ユーザーの現在地から目的地へ向かう経路情報』を取得もしくは受信するための経路取得等手段と、

「前記の取得もしくは受信された『経路情報』の中に含まれている、現在地と目的地との間に存在する一つ又は複数の場所もしくは地点の位置座標データ」と、「予め所定の記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データであって、『複数の場所もしくは地点の実況映像をそれぞれ取得するための各実況映像取得手段』がそれぞれ実況映像を取得する対象としている各場所もしくは地点又は前記各実況映像取得手段がそれぞれ配置されている各場所もしくは地点に対応する複数の映像対象位置座標データ」とを、互いに比較もしくは照合するための座標データ比較等手段と、

前記比較もしくは照合の結果に基づいて、「前記記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データ又はこれらにそれぞれ対応する実況映像識別データ」の中から、「前記経路上に若しくは前記経路に沿って存在する、一つ又は複数の場所もしくは地点の映像対象位置座標データ又はこれに対応する実況映像識別データ」を抽出もしくは特定するための抽出等手段と、

「前記抽出もしくは特定された『一つ又は複数の場所もしくは地点の映像対象位置座標データ又はこれに対応する実況映像識別データ』に対応する、一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像」又はこの実況映像を識別するための実況映像識別データ（この実況映像識別データは前記映像対象位置座標データそのものであってもよい）を、出力もしくはユーザー側に送信するための実況映像等送信等手段と、
を備えたことを特徴とする略リアルタイム映像提供システム。

【請求項 6】

ユーザーの現在地に対応する位置座標データとユーザーの目的地に対応する位置座標データとに基づいて、『ユーザーの現在地から目的地へ向かう経路情報』を取得もしくは受信するための経路取得等手段と、

「前記の取得もしくは受信された『経路情報』の中に含まれている、現在地と目的地との間に存在する一つ又は複数の場所もしくは地点の位置座標データ」と、「予め所定の記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データであって、『複数の場所もしくは地点の実況映像をそれぞれ取得するための各実況映像取得手段』がそれぞれ実況映像を取得する対象としている各場所もしくは地点又は前記各実況映像取得手段がそれぞれ配置されている各場所もしくは地点に対応する複数の映像対象位置座標データ」とを、互いに比較もしくは照合し、その結果に基づいて、「前記記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データ又はこれらにそれぞれ対応する実況映像識別データ」の中から、「前記経路上に若しくは前記経路に沿って存在する、一つ又は複数の場所もしくは地点の映像対象位置座標データ又はこれに対応する実況映像識別データ」を抽出もしくは特定するための抽出等手段と、

「前記抽出もしくは特定された『一つ又は複数の場所もしくは地点の映像対象位置座標データ又はこれに対応する実況映像識別データ』に対応する、一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像」又はこの実況映像を識別するための実況映像識別データ（この実況映像識別データは前記映像対象位置座標データそのものであってもよい）を、出力もしくは

ユーザー側に送信するための実況映像等送信等手段と、
を備えたことを特徴とする略リアルタイム映像提供システム。

【請求項 7】

ユーザーの現在地に対応する位置座標データを取得もしくはサーバー側へ送信するための現在地送信等手段と、

ユーザーの目的地に対応する位置座標データを取得もしくはサーバー側へ送信するための目的地送信等手段と、

前記現在地に対応する位置座標データと前記目的地に対応する位置座標データとに基づいて、「ユーザーの現在地から目的地へ向かう経路情報」を取得もしくはサーバー側へ送信するための経路送信等手段と、

サーバー側において「『複数の場所もしくは地点の実況映像をそれぞれ取得するための各実況映像取得手段』により取得された複数の実況映像」から抽出もしくは特定された「『前記経路上に若しくは前記経路に沿って存在する、一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像』又はこの実況映像を識別するための実況映像識別データ（この実況映像識別データは前記映像対象位置座標データそのものであってもよい）」であって、サーバー側において、「前記記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データ又はこれらにそれぞれ対応する実況映像識別データ」の中から、「前記経路上に若しくは前記経路に沿って存在する、一つ又は複数の場所もしくは地点の位置座標データ」と「予め所定の記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データであって、『複数の場所もしくは地点の実況映像をそれぞれ取得するための各実況映像取得手段』がそれぞれ実況映像を取得する対象としている各場所もしくは地点又は前記各実況映像取得手段がそれぞれ配置されている各場所もしくは地点に対応する複数の映像対象位置座標データ」とを互いに比較もしくは照合することにより抽出もしくは特定された、「前記経路上に若しくは前記経路に沿って存在する、一つ又は複数の場所もしくは地点の映像対象位置座標データ又はこれに対応する実況映像識別データ」に対応する、「一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像」又はこの実況映像を識別するための実況映像識別データ（この実況映像識別データは前記映像対象位置座標データそのものであってもよい）」を、前記サーバー側から受信するための実況映像等受信手段と、

前記実況映像等受信手段により受信された情報に基づいて、「前記経路上に若しくは前記経路に沿って存在する、一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像」を表示するための実況映像表示手段と、

を備えたことを特徴とする略リアルタイム映像提供システム。

【請求項 8】

前記現在地に対応する位置座標データと前記目的地に対応する位置座標データとに基づいて、「ユーザーの現在地から目的地へ向かう経路情報」を取得もしくはサーバー側へ送信するための経路送信等手段と、

サーバー側において「『複数の場所もしくは地点の実況映像をそれぞれ取得するための各実況映像取得手段』により取得された複数の実況映像」から抽出もしくは特定された「『前記経路上に若しくは前記経路に沿って存在する、一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像』又はこの実況映像を識別するための実況映像識別データ（この実況映像識別データは前記映像対象位置座標データそのものであってもよい）」であって、サーバー側において、「前記記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データ又はこれらにそれぞれ対応する実況映像識別データ」の中から、「前記経路上に若しくは前記経路に沿って存在する、一つ又は複数の場所もしくは地点の位置座標データ」と「予め所定の記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データであって、『複数の場所もしくは地点の実況映像をそれぞれ取得するための各実況映像取得手段』がそれぞれ実況映像を取得する対象としている各場所もしくは地点又は前記各実況映像取得手段がそれぞれ配置されている各場所もしくは地点に対応する複数の映像対象位置座標データ」とを互いに比較もしくは照合した結果に基づいて抽出もしくは特定された、「前記経路上に若しくは前記経路に沿って存在する、一つ又は複数の場所もしくは地点の映像対象位置座標データ又はこれ

に対応する実況映像識別データ」に対応する、「一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像」又はこの実況映像を識別するための実況映像識別データ（この実況映像識別データは前記映像対象位置座標データそのものであってもよい）」を、前記サーバー側から受信するための実況映像等受信手段と、

前記実況映像等受信手段により受信された情報に基づいて、「前記経路上に若しくは前記経路に沿って存在する、一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像」を表示するための実況映像表示手段と、

を備えたことを特徴とする略リアルタイム映像提供システム。

【請求項 9】

請求項 1 から 4 までのいずれかにおいて、

前記の「前記現在地の近傍に存在する一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像」又は前記実況映像を識別するための識別データを抽出もしくは特定する動作は、

(a) 「前記現在地に対応する位置座標データ」と「予め所定の記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データ又はこれらにそれぞれ対応する実況映像識別データであって、前記各実況映像取得手段がそれぞれ実況映像を取得する対象としている各場所もしくは地点又は前記各実況映像取得手段がそれぞれ配置されている各場所もしくは地点を示す映像対象位置座標データ又はこれに対応する実況映像識別データ」とを互いに比較もしくは照合した結果と、

(b) ユーザーの希望に適合する施設（劇場、野球場、寺院その他の名所旧跡、レストランその他の店舗など）を検索するための施設検索キー（施設を検索するためのキーとなり得る情報であって、施設のジャンル、スポーツや観劇や買物や食事などの行動のジャンル、地名などの情報）と、

に基づいて、

「前記現在地の近傍に存在する一つ又は複数の施設の実況映像」を抽出もしくは特定するものである、ことを特徴とする、略リアルタイム映像提供システム。

【請求項 10】

請求項 5 から 8 までのいずれかにおいて、

前記の「前記経路上に若しくは前記経路に沿って存在する一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像」又は前記実況映像を識別するための識別データを抽出もしくは特定する動作は、

(a) 「前記の『経路情報』の中に含まれている、現在地と目的地との間に存在する一つ又は複数の場所もしくは地点の位置座標データ」と「予め所定の記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データ又はこれらにそれぞれ対応する実況映像識別データであって、前記各実況映像取得手段がそれぞれ実況映像を取得する対象としている各場所もしくは地点又は前記各実況映像取得手段がそれぞれ配置されている各場所もしくは地点を示す映像対象位置座標データ又はこれに対応する実況映像識別データ」とを互いに比較もしくは照合した結果と、

(b) ユーザーの希望に適合する施設（劇場、野球場、寺院その他の名所旧跡、レストランその他の店舗など）を検索するための施設検索キー（施設を検索するためのキーとなり得る情報であって、施設のジャンル、スポーツや観劇や買物や食事などの行動のジャンル、地名などの情報）と、

に基づいて、

「前記経路上もしくは前記経路に沿って存在し且つ前記施設検索キーに適合する一つ又は複数の施設の実況映像」を抽出もしくは特定するものである、ことを特徴とする、略リアルタイム映像提供システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】略リアルタイム実況映像提供システム

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、各場所の実況映像をユーザー側に提供することができる、実況映像提供システムに関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

従来より、各地点の映像をCD-ROM又はハードディスクなどの記録媒体に記録しておき、それを所定のキーワード等の検索データに基づいて検索して表示するシステムが存在している。ところで、実際の景色などは、季節の移り変わり、その日の天候、道路や建物の工事状況などにより日々刻々変遷しているものであるが、ユーザーが見ることができる前記の記録媒体に記録された映像は、「過去のもの」である（「生のもの」ではない）。また、仮に前記記録媒体に記録された映像が更新直後のものだとしても、「今現在のこの瞬間のリアルタイムの状況」を示すものではない。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

本発明の第1の目的は、ユーザーが、現在地において、これから向かおうとする目的地への経路の途中に（経路に沿って）存在しており且つ自分が興味を持っているか若しくは興味を持ちそうな一つ若しくは複数の場所や施設（劇場、野球場、寺院その他の名所旧跡、レストランその他の店舗など）の実際の状況や雰囲気（例えば店舗内の来店客の混雑状況や雰囲気など）を、略リアルタイムに知ることができるシステム、を提供することである。

本発明の第2の目的は、ユーザーが、現在地において、現在地の近傍に存在する一つ若しくは複数の場所や施設（劇場、野球場、寺院その他の名所旧跡、レストランその他の店舗など）の実際の状況や雰囲気（例えば店舗内の来店客の混雑状況や雰囲気など）を、略リアルタイムに知ることができるシステム、を提供することである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

本発明は、本願の特許請求の範囲に記載されたとおりのものであり、次のとおりのものである。

1 ユーザーの現在地に対応する位置座標データを取得し若しくは受信するための現在地取得等手段と、前記の取得もしくは受信されたユーザーの現在地に対応する位置座標データと、「予め所定の記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データであって、『複数の場所もしくは地点の実況映像をそれぞれ取得するための各実況映像取得手段』が

それぞれ実況映像を取得する対象としている各場所もしくは地点又は前記各実況映像取得手段がそれぞれ配置されている各場所もしくは地点に対応する複数の映像対象位置座標データ」とを、互いに比較もしくは照合するための座標データ比較等手段と、前記比較もしくは照合の結果に基づいて、「前記記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データ又はこれらにそれぞれ対応する実況映像識別データ」の中から、「ユーザーの現在地の近傍に存在する一つ又は複数の場所もしくは地点を示す映像対象位置座標データ又はこれに対応する実況映像識別データ」を抽出もしくは特定するための抽出等手段と、「前記抽出もしくは特定された『一つ又は複数の場所もしくは地点の映像対象位置座標データ又はこれに対応する実況映像識別データ』」に対応する、一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像」又はこの実況映像を識別するための実況映像識別データ（この実況映像識別データは前記映像対象位置座標データそのものであってもよい）を、出力もしくはユーザー側に送信するための実況映像等送信等手段と、を備えたことを特徴とする略リアルタイム映像提供システム。

2 ユーザーの現在地に対応する位置座標データを取得し若しくは受信するための現在地取得等手段と、前記の取得もしくは受信されたユーザーの現在地に対応する位置座標データと、「予め所定の記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データであって、『複数の場所もしくは地点の実況映像をそれぞれ取得するための各実況映像取得手段』がそれぞれ実況映像を取得する対象としている各場所もしくは地点又は前記各実況映像取得手段がそれぞれ配置されている各場所もしくは地点に対応する複数の映像対象位置座標データ」とを、互いに比較もしくは照合し、その結果に基づいて、『前記記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データ又はこれらにそれぞれ対応する実況映像識別データ』の中から、「ユーザーの現在地の近傍に存在する一つ又は複数の場所もしくは地点を示す映像対象位置座標データ又はこれに対応する実況映像識別データ」を抽出もしくは特定するための抽出等手段と、「前記抽出もしくは特定された『一つ又は複数の場所もしくは地点の映像対象位置座標データ又はこれに対応する実況映像識別データ』」に対応する、一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像」又はこの実況映像を識別するための実況映像識別データ（この実況映像識別データは前記映像対象位置座標データそのものであってもよい）を、出力もしくはユーザー側に送信するための実況映像等送信等手段と、を備えたことを特徴とする略リアルタイム映像提供システム。

3 ユーザーの現在地に対応する位置座標データを取得し若しくはサーバー側へ送信するための現在地送信等手段と、サーバー側において「『複数の場所もしくは地点の実況映像をそれぞれ取得するための各実況映像取得手段』により取得された複数の実況映像」から抽出もしくは特定された「『一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像』又はこの実況映像を識別するための実況映像識別データ（この実況映像識別データは前記映像対象位置座標データそのものであってもよい）」であって、サーバー側において、「前記記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データ又はこれらにそれぞれ対応する実況映像識別データ」の中から、前記ユーザーの現在地に対応する位置座標データと「予め所定の記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データであって、『複数の場所もしくは地点の実況映像をそれぞれ取得するための各実況映像取得手段』がそれぞれ実況映像を取得する対象としている各場所もしくは地点又は前記各実況映像取得手段がそれぞれ配置されている各場所もしくは地点に対応する複数の映像対象位置座標データ」とを互いに比較もしくは照合することにより抽出もしくは特定された、『ユーザーの現在地の近傍に存在する一つ又は複数の場所もしくは地点を示す映像対象位置座標データ又はこれに対応する実況映像識別データ』に対応する、「一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像」又はこの実況映像を識別するための実況映像識別データ（この実況映像識別データは前記映像対象位置座標データそのものであってもよい）」を、前記サーバー側から受信するための実況映像等受信手段と、前記実況映像等受信手段により受信された情報に基づいて、前記現在地の近傍に存在する一つもしくは複数の実況映像を表示するための実況映像表示手段と、を備えたことを特徴とする略リアルタイム映像提供システム。

4 ユーザーの現在地に対応する位置座標データを取得し若しくはサーバー側へ送信する

ための現在地送信等手段と、サーバー側において「『複数の場所もしくは地点の実況映像をそれぞれ取得するための各実況映像取得手段』により取得された複数の実況映像」から抽出もしくは特定された「『一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像』又はこの実況映像を識別するための実況映像識別データ（この実況映像識別データは前記映像対象位置座標データそのものであってもよい）」であって、サーバー側において、「前記記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データ又はこれらにそれぞれ対応する実況映像識別データ」の中から、前記ユーザーの現在地に対応する位置座標データと「予め所定の記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データであって、『複数の場所もしくは地点の実況映像をそれぞれ取得するための各実況映像取得手段』がそれぞれ実況映像を取得する対象としている各場所もしくは地点又は前記各実況映像取得手段がそれぞれ配置されている各場所もしくは地点に対応する複数の映像対象位置座標データ」とを互いに比較もしくは照合した結果に基づいて抽出もしくは特定された、「ユーザーの現在地の近傍に存在する一つ又は複数の場所もしくは地点を示す映像対象位置座標データ又はこれに対応する実況映像識別データ」に対応する、「一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像」又はこの実況映像を識別するための実況映像識別データ（この実況映像識別データは前記映像対象位置座標データそのものであってもよい）」を、前記サーバー側から受信するための実況映像等受信手段と、前記実況映像等受信手段により受信された情報に基づいて、前記現在地の近傍に存在する一つもしくは複数の実況映像を表示するための実況映像表示手段と、を備えたことを特徴とする略リアルタイム映像提供システム。

5 ユーザーの現在地に対応する位置座標データを取得もしくは受信するための現在地取得等手段と、ユーザーの目的地に対応する位置座標データを取得もしくは受信するための目的地取得等手段と、前記現在地に対応する位置座標データと前記目的地に対応する位置座標データとに基づいて、『ユーザーの現在地から目的地へ向かう経路情報』を取得もしくは受信するための経路取得等手段と、「前記の取得もしくは受信された『経路情報』の中に含まれている、現在地と目的地との間に存在する一つ又は複数の場所もしくは地点の位置座標データ」と、「予め所定の記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データであって、『複数の場所もしくは地点の実況映像をそれぞれ取得するための各実況映像取得手段』がそれぞれ実況映像を取得する対象としている各場所もしくは地点又は前記各実況映像取得手段がそれぞれ配置されている各場所もしくは地点に対応する複数の映像対象位置座標データ」とを、互いに比較もしくは照合するための座標データ比較等手段と、前記比較もしくは照合の結果に基づいて、「前記記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データ又はこれらにそれぞれ対応する実況映像識別データ」の中から、「前記経路上に若しくは前記経路に沿って存在する、一つ又は複数の場所もしくは地点の映像対象位置座標データ又はこれに対応する実況映像識別データ」を抽出もしくは特定するための抽出等手段と、「前記抽出もしくは特定された『一つ又は複数の場所もしくは地点の映像対象位置座標データ又はこれに対応する実況映像識別データ』に対応する、一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像」又はこの実況映像を識別するための実況映像識別データ（この実況映像識別データは前記映像対象位置座標データそのものであってもよい）」を、出力もしくはユーザー側に送信するための実況映像等送信等手段と、を備えたことを特徴とする略リアルタイム映像提供システム。

6 ユーザーの現在地に対応する位置座標データとユーザーの目的地に対応する位置座標データとに基づいて、『ユーザーの現在地から目的地へ向かう経路情報』を取得もしくは受信するための経路取得等手段と、「前記の取得もしくは受信された『経路情報』の中に含まれている、現在地と目的地との間に存在する一つ又は複数の場所もしくは地点の位置座標データ」と、「予め所定の記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データであって、『複数の場所もしくは地点の実況映像をそれぞれ取得するための各実況映像取得手段』がそれぞれ実況映像を取得する対象としている各場所もしくは地点又は前記各実況映像取得手段がそれぞれ配置されている各場所もしくは地点に対応する複数の映像対象位置座標データ」とを、互いに比較もしくは照合し、その結果に基づいて、「前記記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データ又はこれらにそれぞれ対応する実況映

像識別データ」の中から、「前記経路上に若しくは前記経路に沿って存在する、一つ又は複数の場所もしくは地点の映像対象位置座標データ又はこれに対応する実況映像識別データ」を抽出もしくは特定するための抽出等手段と、「前記抽出もしくは特定された『一つ又は複数の場所もしくは地点の映像対象位置座標データ又はこれに対応する実況映像識別データ』に対応する、一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像」又はこの実況映像を識別するための実況映像識別データ（この実況映像識別データは前記映像対象位置座標データそのものであってもよい）を、出力もしくはユーザー側に送信するための実況映像等送信等手段と、を備えたことを特徴とする略リアルタイム映像提供システム。

7 ユーザーの現在地に対応する位置座標データを取得もしくはサーバー側へ送信するための現在地送信等手段と、ユーザーの目的地に対応する位置座標データを取得もしくはサーバー側へ送信するための目的地送信等手段と、前記現在地に対応する位置座標データと前記目的地に対応する位置座標データとに基づいて、「ユーザーの現在地から目的地へ向かう経路情報」を取得もしくはサーバー側へ送信するための経路送信等手段と、サーバー側において「『複数の場所もしくは地点の実況映像をそれぞれ取得するための各実況映像取得手段』により取得された複数の実況映像」から抽出もしくは特定された「『前記経路上に若しくは前記経路に沿って存在する、一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像』又はこの実況映像を識別するための実況映像識別データ（この実況映像識別データは前記映像対象位置座標データそのものであってもよい）」であって、サーバー側において、「前記記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データ又はこれらにそれぞれ対応する実況映像識別データ」の中から、「前記経路上に若しくは前記経路に沿って存在する、一つ又は複数の場所もしくは地点の位置座標データ」と「予め所定の記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データ」であって、『複数の場所もしくは地点の実況映像をそれぞれ取得するための各実況映像取得手段』がそれぞれ実況映像を取得する対象としている各場所もしくは地点又は前記各実況映像取得手段がそれぞれ配置されている各場所もしくは地点に対応する複数の映像対象位置座標データ」とを互いに比較もしくは照合することにより抽出もしくは特定された、「前記経路上に若しくは前記経路に沿って存在する、一つ又は複数の場所もしくは地点の映像対象位置座標データ又はこれに対応する実況映像識別データ」に対応する、「一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像」又はこの実況映像を識別するための実況映像識別データ（この実況映像識別データは前記映像対象位置座標データそのものであってもよい）」を、前記サーバー側から受信するための実況映像等受信手段と、前記実況映像等受信手段により受信された情報に基づいて、「前記経路上に若しくは前記経路に沿って存在する、一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像」を表示するための実況映像表示手段と、を備えたことを特徴とする略リアルタイム映像提供システム。

8 前記現在地に対応する位置座標データと前記目的地に対応する位置座標データとに基づいて、「ユーザーの現在地から目的地へ向かう経路情報」を取得もしくはサーバー側へ送信するための経路送信等手段と、サーバー側において「『複数の場所もしくは地点の実況映像をそれぞれ取得するための各実況映像取得手段』により取得された複数の実況映像」から抽出もしくは特定された「『前記経路上に若しくは前記経路に沿って存在する、一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像』又はこの実況映像を識別するための実況映像識別データ（この実況映像識別データは前記映像対象位置座標データそのものであってもよい）」であって、サーバー側において、「前記記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データ又はこれらにそれぞれ対応する実況映像識別データ」の中から、「前記経路上に若しくは前記経路に沿って存在する、一つ又は複数の場所もしくは地点の位置座標データ」と「予め所定の記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データ」であって、『複数の場所もしくは地点の実況映像をそれぞれ取得するための各実況映像取得手段』がそれぞれ実況映像を取得する対象としている各場所もしくは地点又は前記各実況映像取得手段がそれぞれ配置されている各場所もしくは地点に対応する複数の映像対象位置座標データ」とを互いに比較もしくは照合した結果に基づいて抽出もしくは特定された、「前記経路上に若しくは前記経路に沿って存在する、一つ又は複数の場所もしくは地点の

映像対象位置座標データ又はこれに対応する実況映像識別データ」に対応する、「一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像」又はこの実況映像を識別するための実況映像識別データ（この実況映像識別データは前記映像対象位置座標データそのものであってもよい）」を、前記サーバー側から受信するための実況映像等受信手段と、前記実況映像等受信手段により受信された情報に基づいて、「前記経路上に若しくは前記経路に沿って存在する、一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像」を表示するための実況映像表示手段と、を備えたことを特徴とする略リアルタイム映像提供システム。

9 1から4までのいずれかにおいて、前記の「前記現在地の近傍に存在する一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像」又は前記実況映像を識別するための識別データを抽出もしくは特定する動作は、（a）「前記現在地に対応する位置座標データ」と「予め所定の記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データ又はこれらにそれぞれ対応する実況映像識別データであって、前記各実況映像取得手段がそれぞれ実況映像を取得する対象としている各場所もしくは地点又は前記各実況映像取得手段がそれぞれ配置されている各場所もしくは地点を示す映像対象位置座標データ又はこれに対応する実況映像識別データ」とを互いに比較もしくは照合した結果と、（b）ユーザーの希望に適合する施設（劇場、野球場、寺院その他の名所旧跡、レストランその他の店舗など）を検索するための施設検索キー（施設を検索するためのキーとなり得る情報であって、施設のジャンル、スポーツや観劇や買物や食事などの行動のジャンル、地名などの情報）と、に基づいて、「前記現在地の近傍に存在する一つ又は複数の施設の实況映像」を抽出もしくは特定するものである、ことを特徴とする、略リアルタイム映像提供システム。

10 5から8までのいずれかにおいて、前記の「前記経路上に若しくは前記経路に沿って存在する一つ又は複数の場所もしくは地点の実況映像」又は前記実況映像を識別するための識別データを抽出もしくは特定する動作は、（a）「前記の『経路情報』の中に含まれている、現在地と目的地との間に存在する一つ又は複数の場所もしくは地点の位置座標データ」と「予め所定の記録手段に記録されている複数の映像対象位置座標データ又はこれらにそれぞれ対応する実況映像識別データであって、前記各実況映像取得手段がそれぞれ実況映像を取得する対象としている各場所もしくは地点又は前記各実況映像取得手段がそれぞれ配置されている各場所もしくは地点を示す映像対象位置座標データ又はこれに対応する実況映像識別データ」とを互いに比較もしくは照合した結果と、（b）ユーザーの希望に適合する施設（劇場、野球場、寺院その他の名所旧跡、レストランその他の店舗など）を検索するための施設検索キー（施設を検索するためのキーとなり得る情報であって、施設のジャンル、スポーツや観劇や買物や食事などの行動のジャンル、地名などの情報）と、に基づいて、「前記経路上もしくは前記経路に沿って存在し且つ前記施設検索キーに適合する一つ又は複数の施設の实況映像」を抽出もしくは特定するものである、ことを特徴とする、略リアルタイム映像提供システム。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

第1 本願の特許請求の範囲に記載された発明そのものではない（部分的に重複している部分もある）が本明細書の中で提案・開示している実況映像を利用した現在位置確認システム（以下「本システム」という）は、次のようなものである（実施例としては、例えば、段落番号0017、0018などの説明を参照）。

本システムは、地図上の複数の地点に対応する実際の地点にそれぞれ設けられ、その地点の周辺の実況映像をリアルタイムに入力する映像入力手段であって、それぞれがネットワークに接続されている映像入力手段と、ユーザーの現在位置を推測する現在位置推測手段と、この現在位置推測手段により得られた推測現在位置に対応する地図上の地点を求め

る手段と、この地図上の地点を求める手段により求められた地点に対応する実際の地点に設けられた前記映像入力手段からの実況映像をネットワークを介して取り込む取り込み手段と、この取込まれた実況映像を表示する表示手段と、を備えたことを特徴とする実況映像を利用した現在位置確認システムである。

また、本システムは、公衆への開示が可能な多数の実況地点の実況映像をそれぞれリアルタイムに常時入力するために各実況地点にそれぞれ設けられた映像入力手段と、前記各実況映像を互いに識別するための『実況映像識別データ（緯度データ及び経度データの座標データなどから成る）』を記録する実況映像識別データ記録手段と、ユーザーの現在位置を特定する現在位置特定手段（従来より公知のGPS受信機など）と、この現在位置特定手段により特定された『ユーザーの現在位置（緯度データ及び経度データの座標データなどから成る）』に基づいて、その現在位置に『近い』一つ又は複数の実況地点に対応又は関連する一つ又は複数の『実況映像識別データ（緯度データ及び経度データの座標データなどから成る）』を選択する実況映像識別データ選択手段と、この選択された実況映像識別データに基づいて、対応する実況映像をオンラインで取り込む（ネットワークを介してアクセスして閲覧する場合と送信させる場合などを含む）映像取り込み手段と、この映像取り込み手段により取込まれた実況映像（動画又は静止画）をリアルタイムに表示する表示手段と、からなるものである。

また、本システムでは、前記映像入力手段は、前記各実況地点から複数の方向に向かって見える映像をそれぞれ撮像するものであり、前記各実況映像を互いに識別するための実況映像識別データは、前記映像入力手段が設けられた各実況地点の位置を示す位置データとその映像入力手段が撮影する方向を示す方向データと、から構成されており、前記現在位置特定手段は、ユーザーの現在位置を特定する手段とユーザーの進行方向を特定する手段とを含んでおり、前記実況映像識別データ選択手段は、前記現在位置特定手段により特定されたユーザーの現在位置を示すデータ（緯度データ及び経度データから成る位置座標データなど）及び進行方向を示すデータ（東西南北など）に基づいて、ユーザーの現在位置からユーザーの進行する方向に位置し且つユーザーの現在地点に近い位置にある実況地点の実況映像であってしかもユーザーの進行方向に近い方向を写す実況映像（動画又は静止画）を特定するための実況映像地点識別データを選択するものである。

第2 本システムでは、ユーザーの推測現在位置をGPS受信機などの現在位置推測手段（現在位置特定手段と呼ぶこともある）により求め、この「求められた推測現在位置に対応する実況地点の実況映像」をオンラインで取り出して表示するようにしている。

したがって、ユーザーは、例えば、次のような使い方が可能になる。例えば、自分が車両などに乗って移動しているとき、GPS受信機からのデータにより自分の「推測現在位置」を求めて、その「推測現在位置に対応する地図上の地点」を地図画面上で求めて見る（このためのシステムは、従来より、自動車用の目的地までのルートの地図探索・運転案内システムとして実用化されている）。また、同時に、ユーザーは、通信ネットワークを介して該当する映像入力手段にアクセスし、前記の「推測現在位置に対応する地図上の地点」に対応する実況映像を、オンラインで取り出して画面上に表示させて見る。これにより、ユーザーは、目的地へのルートを記載した地図を見ながら、地図上に表示されている推測現在位置（GPS受信機により計測されるユーザーの推測現在位置が画面の地図上に矢印などで表示されるシステムは、自動車の運転案内システムとして既に多数市販されている）と実況映像とが一致しているかどうかを確認し、一致していれば、GPS受信機のデータから得られた「推測現在位置」が計測誤差なく正しいことを確認できる。また一致していなければ、GPS受信機のデータから得られた「推測現在位置」が間違っていることが分かる。

すなわち、ユーザーがGPS受信機からの推測現在位置に基づいて地図データベースから推測現在位置を含む所定領域の地図を読み出して表示し、その表示された地図の上の「推測現在位置に近い一つ又は複数の実況地点の実況映像」をオンラインで取り出すようにすれば、GPS受信機からの「推測現在位置」が正しいかどうかをユーザー自身が確認で

きる。すなわち、従来より存在しているGPS受信機を利用して、GPS受信機からの「推測現在位置」（緯度データと経度データの座標データ）に基づいて地図データベースから推測現在位置を含む所定領域の地図を読み出して表示し、その表示された地図上に表示された「推測現在位置（座標データ）又はそれと近い地点の実況映像」をオンラインで取り出すようにすれば、GPS受信機からの「推測現在位置」が計測誤差などが無く正しいものかどうかを、確認することができる。つまり、「表示された実況映像」が「ユーザーの現在の位置から実際に見えるもの」と一致していれば、GPS受信機からの[推測現在位置]は正しいものと判定できる（従来は、ユーザーは、地図だけでは、GPS受信機による現在位置が正しいかどうかを自分で確かめることが困難だった）。

また、本システムでは、前記映像入力手段は、前記各実況地点から複数の方向に向かって見える映像を撮像するものであり、前記各実況地点を互いに識別するための実況地点識別データは、前記映像入力手段が設けられた各実況地点の位置を示す位置データとその映像入力手段が撮影する方向を示す方向データとから構成されており、前記現在位置特定（推測）手段は、ユーザーの現在位置を特定（推測）する手段とユーザーの進行方向を特定する手段とを含んでおり、前記実況地点識別データ選択手段は、前記現在位置特定（推測）手段により特定（推測）されたユーザーの推測現在位置（緯度データ及び経度データによる座標データなど）及びユーザーの進行方向（東西南北など）に基づいて、ユーザーの「推測現在位置に（最も）近い実況地点」を示し且つユーザーの進行方向に（最も）近い方向の実況地点識別データを選択するものである。よって、車両などで移動中のユーザーは、画面に表示された「地図上の自分の推測現在位置（GPS受信機からの自分の推測現在位置が矢印などで表示される）」を見ながら、同時に、前記GPS受信機からの「推測現在位置に対応する地図上の地点を示す実況映像」を見ることができ、「推測現在位置に対応する地図上の地点を示す実況映像」と「自分の位置から実際に見える風景」とを照らし合わせて、GPSにより計測された「推測現在位置」が本当に正しいかどうかを確認することができる。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

また、本願の特許請求の範囲には記載されていないが本明細書の中で開示されている発明（以下「実況映像提供システム」）としては、次のものが存在する。

(1) 実況映像提供システムは、公衆への開示が可能な多数の実況地点の実況映像をそれぞれリアルタイムに常時入力するために各実況地点に設けられた映像入力手段と、前記各実況地点の実況映像を互いに識別するための実況映像識別データを、地図データベースの地図上の各地点とそれぞれ関連・対応付けながら、記録する実況映像識別データベース手段と、前記地図データベースの地図上で指定された地点に基づいて、前記実況映像識別データベース手段から、対応する一つ又は複数の実況映像識別データを検索する検索手段と、この検索手段により検索された実況映像識別データに基づいて、対応する実況映像をリアルタイムに無線又は有線に取り込む（ネットワークで送信させること又はインターネット用ブラウジング・ソフトウェアでアクセスして閲覧することなどの方法により取り込む）映像取り込み手段と、この映像取り込み手段により取り込まれた実況映像（動画又は静止画）を出力する表示手段と、からなるものである。

(2) また、実況映像提供システムは、公衆への開示が可能な多数の実況地点の実況映像をそれぞれリアルタイムに常時入力するために各実況地点に設けられた映像入力手段と、地図とその地図上の各地点を特定するための座標データとを記録する地図データベースと、前記地図データベースの中の座標データと、前記各実況映像を互いに識別するための実況映像識別データとを、互いに関連又は対応付けながら、記録する実況映像識別データベース手段と、ある実況映像を表示している場合に、その実況映像を互いに識別する実況映像

識別データをキーとして、前記実況映像識別データベースから、その実況映像の実況地点に対応又は関連する一つ又は複数の地図上の地点を検索する検索手段と、この検索手段により検索された地図上の地点を含む所定領域の地図を示す地図データを抽出する地図データ抽出手段と、この地図データ抽出手段により抽出された地図データにより地図を出力する表示手段と、からなるものである。

(3)また、実況映像提供システムは、公衆への開示が可能な多数の実況地点の実況映像をそれぞれリアルタイムに常時入力するために各実況地点に設けられた映像入力手段と、前記各実況映像を互いに識別するための実況映像識別データを、文字列・記号列・図形又は映像などから成るキーと関連付けながら、記録する実況映像識別データベース手段と、前記の文字列・記号列・図形又は映像などから成るキーを入力するキー入力手段と、このキー入力手段から入力されたキーに基づいて、前記実況映像識別データベース手段から、関連する一つ又は複数の実況映像識別データを検索する検索手段と、この検索手段により検索された実況映像識別データに基づいて、対応する実況映像を取り込む（ネットワークより送信させるとインターネット用ブラウザにより閲覧する場合などを含む）映像取り込み手段と、この映像取り込み手段により取り込まれた実況映像（動画又は静止画）を出力する表示手段と、からなるものである。

(4)なお、実況映像提供システムにおいて、前記映像入力手段は一つの実況地点から複数の方向の映像を撮像するものであり（例えば、一つのビデオカメラを旋回してある複数の方向に來たときに撮像する場合や、複数のビデオカメラを複数の方向にそれぞれ備え付けて同時に撮像する場合など）、前記各実況映像を特定するための実況映像識別データは、前記映像入力手段が設けられた各実況地点の位置を示す位置データとその映像入力手段が撮影する方向を示す方向データとから構成されていることが望ましい。

(5)また、実況映像提供システムでは、前記表示手段に表示された実況映像（動画又は静止画）の中のユーザーが指定した部分に対して他の部分と区別するためのマーキングをするためのマーキング手段を備えるのがよい。

(6)また、実況映像提供システムにおいて、前記映像入力手段は、その地点において発生している音声をリアルタイムに入力する手段をも備えているのがよい。

(7)また実況映像提供システムでは、さらに、前記映像入力手段の近傍に備えられ、匂いセンサと、この匂いセンサからの信号を匂いデジタルデータに変換する手段とから構成され、前記映像入力手段の設置された地点又はその周辺の匂いを入力するための匂い入力手段と、この匂い入力手段からの匂いデータを、その匂いに近似した匂いを発生させるための芳香剤調合データに変換する変換手段と、前記表示手段の近傍に備えられ、前記芳香剤調合データから芳香剤を調合して所望の匂いを発生させる匂い発生手段と、を含むのがよい。なお、前記の「その匂いに近似した匂いを発生させるための芳香剤調合データに変換する変換手段」は、前記匂い入力手段と直接に接続され、この変換手段がコンピュータ通信ネットワークを介して前記匂い発生手段に接続されていてもよいし、あるいは、前記入力手段とコンピュータ通信ネットワークを介して接続され、この変換手段が直接に前記匂い発生手段に接続されていてもよい。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本願の第1の発明によれば、ユーザーは、現在地において、これから向かおうとする目的地への経路の途中に（経路に沿って）存在しており且つ自分が興味を持っているか若しくは興味を持ちそうな一つ若しくは複数の場所や施設（劇場、野球場、寺院その他の名所旧跡、レストランその他の店舗など）の実際の状況や雰囲気（例えば店舗内の来店客の混雑状況や雰囲気など）を、略リアルタイムに知ることができる、という効果が得られる。

本願の第2の発明によれば、ユーザーは、現在地において、現在地の近傍に存在する一

つ若しくは複数の場所や施設（劇場、野球場、寺院その他の名所旧跡、レストランその他の店舗など）の実際の状況や雰囲気（例えば店舗内の来店客の混雑状況や雰囲気など）を、略リアルタイムに知ることができる、という効果が得られる。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

この実施例 1 では、前記 C D - R O M 4 には、地図データとこの地図上の各地点を特定するためのアドレスデータとを関連させて記録する地図データベースと、このアドレスデータと、前記各実況地点（前記ビデオカメラ 1 2 及びマイク 1 3 が設置された各場所）の実況映像を識別するための映像識別データとを、互いに関連付け・対応付けて記録する実況映像データベースと、これらの前記地図データベースを再生する再生プログラムと、前記実況映像データベースを検索する検索プログラムと、この検索された実況映像識別データからそれに対応する実況映像を取り込んで表示するためのプログラムとが、記録されている。

今、例えば大阪に住んでいるユーザーが、「自分の故郷の神奈川県夏の湘南海岸の海岸線に沈む夕陽の景色を見たい」と考えたとする。その場合、例えば、ユーザーが地図データベースを再生させて湘南海岸を含む所定領域の地図を画面表示させ、その画面上で前記の湘南海岸の地点をマウス 6 a でクリックしたとする。すると、制御装置 2 は、この入力に基づいて、前記地点データベースから、この地図上の地点に対応するアドレスデータを検索する。そして、この検索されたアドレスデータに基づいて、前記実況映像データベースから、対応する実況地点の実況映像を示す実況映像識別データを検索する。そして、この検索された実況映像識別データに基づいて、中継サービス用コンピュータ 1 1 にアクセスして、前記の実況映像識別データに対応する実況地点に設置されたビデオカメラ及びマイク（且つ、前記実況映像識別データが撮像方向をも特定したものであるときは、その撮像方向と対応する方向に設置されたビデオカメラ及びマイク）からの映像データ及び音声データをオンラインで取り込んで、ディスプレイ 7 及びスピーカ 8 によりリアルタイムに出力する。このとき出力される映像及び音声は、現時点のリアルタイムの映像及び音声なので、ユーザーはあたかもその現場に実際にいるような感覚・感動を得ることができる。

すなわち、従来からも、例えば湘南海岸などの海岸の映像を記録し、それらをキーワードなどで検索して出力できる C D - R O M などは存在している。そして、これらの C D - R O M に記録された映像は、プロのカメラマンが絶好の日和・時刻（例えば夕陽のきれいな時刻）の絶好の角度から美しく撮影したものである。これに対して、この実施例で提供される映像は、雨天のときも曇りのときもあるし、時刻も絶好の景色が見られる時刻ではないかもしれない。しかし、ユーザーにとっては、「今この時点・この瞬間の映像（二度とない映像）である」ということが、ひとつの「臨場感」「感動」を生むことになる。つまり、「今、湘南海岸に沈む夕陽を見たい」とユーザーが思った場合、過去の記録に過ぎない記録された「湘南海岸の夕陽」の映像ではなく、「今この瞬間の湘南海岸の夕陽」の映像を見られなければ、ユーザーにとっては大きな感動は得られない。この実施例はこのようなユーザーの希望に答えることができるものなのである。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

なお、ここで、以上の図 1 について説明した実施例の構成を図 2 を参照してもう一度説

明する。この図 2 は、実施例の構成を機能的・概念的に示したものである。図 2 において、符号 3 2 は、コンピュータネットワーク（コンピュータ通信網）3 0 に接続され、各地の実況映像と音声をリアルタイムに入力するためのビデオカメラ及びマイクから成る実況映像入力部である。また、符号 2 4 は、前記地図データベース 2 6 とその再生プログラムとその検索プログラム、前記実況映像データベース 2 5 とその検索プログラム、及び前記実況映像識別データから通信ネットワークを介して該当する実況映像を取り込むためのプログラムなどが記録された C D - R O M である。

また図 2 において、2 1 は前記 C D - R O M 2 4 に記録された前記地図データベース 2 6 を再生するための地図データベース再生部、2 2 はこの地図データベース再生部 2 1 からの信号を受けて表示部 2 7 及びスピーカ 2 8 を制御して所定の画像及び音声を出力する制御部である。また 2 3 は、前記制御部 2 2 からの信号を受けて、前記地図データベースが再生された画面上でユーザーが指定（マウスでクリック）した地点のアドレスデータに基づいて、前記実況映像データベース 2 5 から、対応する実況映像の識別データを検索する検索部である。制御部 2 2 は、この検索部 2 3 からの実況映像の識別データに基づいて、映像取り込み部（例えばインターネットのホームページ閲覧用ソフトウェアであるブラウザを記録し実行する装置）2 6 を制御して、コンピュータネットワーク用通信回線 3 0 を介して映像入力部 3 2 にアクセスし、そこから、オンラインで、リアルタイムの実況映像及び音声を取り込む。制御部 2 2 は、このオンラインで取り込まれた実況映像と音声を、前記地図データベース 2 6 からの再生画像（地図画像）と関連させながら、前記表示部 2 7 及びスピーカ 2 8 によりリアルタイムに出力させる。

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

したがって、ユーザーは、この図 4 の地図を見ながら、自分がこれから行きたいと思う場所が例えば図 4 の 1 4 2 8 で示す交差点の領域だとして、「今、この交差点の状況はどうなっているか（混雑しているのかどうか、どういう人達がどういう服装で通行しているのか、など）知りたい、そのために実況映像を見たい」と思えば、図 4 で示す地図上の A ～ E の地点のいずれかをマウスなどのポインティングデバイスでクリックすればよい。すると、前記制御装置 2 により、その地図上のアドレスデータに対応する実況映像識別データが検索され（前記実況映像データベースから）、この検索された実況映像識別データに基づいて、該当する実況映像がコンピュータ・ネットワークを介して取り込まれて、ディスプレイ 7 の上半分 7 a に表示される。

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

またユーザーは、これから自分が行きたいと思う場所と今自分が居る場所との間の交通経路を地図上で求めて（これは従来から公知の技術で既に実現されている）、その経路上にある地点の実況映像を順番に表示していく（一つの実況映像の表示時間を例えば 5 秒として、5 秒毎に次の実況映像を順番に表示していく）こともできる。

またユーザーは、自分が自動車を運転しているとき、G P S 受信機で受信した測位情報や各種のセンサにより得た測位情報から現在の位置を地図上で求め（これは従来より公知の技術で既に実現されている）、その地図上で求めた自分の現在位置に対応する地点から、前記実況映像の識別データを求めて、その識別データに基づいてネットワーク上のサーバー（例えば図 1 の中継サービス用コンピュータ 1 1）を通して対応する実況映像を取り

込んで表示する、こともできる。これにより、ユーザーは、地図上の現在位置（GPS受信機やセンサからの情報に基づいて推測した現在位置）と実際の現在位置とが本当に一致しているのかどうかを目視により確認することができる。つまり、上記のようにして求められた実況映像識別データに基づいてディスプレイ7に表示された実況映像と自分が自動車の内部から外部を見て得られる実際の景色とが一致していれば、前記のGPSにより推測した現在位置は計測誤差がなく正しいということになるが、一致していなければ前記の推測した現在位置は正しくないということになる。

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

この実施例2では、前記CD-ROM4には、前記各地点（前記ビデオカメラ12及びマイク13が設置された各場所）の実況映像を識別するための映像識別データと多数のキーワードとを互いに関連付けた実況映像データベースと、これらのキーワードから前記映像識別データを検索するプログラムとが、記録されている。この実況映像データベースに記録されているキーワードには、地名、場所のジャンル（海岸、町角、港町、山、交差点、建物、レストラン、劇場、映画館、スポーツ施設、野球場、温泉、寺院など）、行動のジャンル（スポーツ、演劇、映画、食事、散歩など）、などの様々なものが含まれている。

今、例えば大阪に住んでいるユーザーが、「自分の故郷の神奈川県夏の湘南海岸の海岸線に沈む夕陽の景色を見たい」と考えたとする。その場合、例えば、ユーザーが前記キーボード6により「神奈川県、夏、湘南海岸、海岸線、夕陽」などのキーワードを入力すると、制御装置2は、これらの入力されたキーワードに基づいて、CD-ROM4に記録された実況映像識別データの中から対応するものを検索する。そして、この検索された実況映像識別データに基づいて、中継サービス用コンピュータ11にアクセスして、その識別データに対応する地点に設置されたビデオカメラ及びマイクからの映像データ及び音声データをリアルタイムに取り込んで、ディスプレイ7及びスピーカ8から出力することができる。このとき出力される映像及び音声は、現時点のリアルタイムの映像及び音声なので、ユーザーはあたかもその現場に実際にいるような感動を得ることができる。

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

また図5において、25は、インターネットなどのコンピュータ通信用公衆回線網20に接続された実況映像入力装置で、各実況地点それぞれ設けられ、各実況地点における複数方向の実況映像（各実況地点から複数方向に向かって見える実況映像）をそれぞれリアルタイムに常時入力する複数のデジタル・ビデオカメラと、これらのデジタル・ビデオカメラからのデジタル映像データを、インターネットなどのコンピュータ通信網を介してアクセスして来た複数のユーザーに対してオンラインで提供するための実況映像提供用コンピュータと、から構成されている。

この実況映像提供用コンピュータは、各地点の実況映像を、座標データ（緯度データ及び経度データ）、地名、施設名、施設の識別データ（施設の電話番号など）などの位置識別データ及び東西南北などの方向データと関連付けながら、データベースとして記録している。この実況映像提供用コンピュータは、前記通信網20により前記制御部3とオンラインで接続されている。なお、この通信網20は、有線通信網だけでなく、携帯電話網、PHS（パーソナル・ハンディホン・システム）網、自動車電話網及び人工衛星通信網な

どの無線通信網をも含むものであることが望ましい。

【手続補正 16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

制御部 23 は、ユーザーのキーボード 26 又はマウス 27 などの入力装置による指示により、前記地図用サーバー 24 にアクセスして、そこから、ユーザーが希望する地点（前記入力装置で指定した地点）を含む所定領域の地図のデータをオンラインで取り出して、LCD 21 に表示させる。

また、前記制御部 23 は、ユーザーがこの表示された地図の任意の地点をマウス 27 で指示し、その地点を含む所定領域の実況映像の表示を指令したとき、前記各実況地点の前記実況映像提供用コンピュータを含む映像入力装置 25 にアクセスして、該当する所定領域の実況映像のデータをオンラインで取り出して、その実況映像を LCD 21 にリアルタイムに表示させる。

また、制御部 23 は、ユーザーが、例えば、表示を希望する地点に関する地名、施設名、施設の識別データなどを入力して、該当する実況地点の実況映像又はその実況地点を含む地図の表示を希望したとき、前記映像入力装置 25 又は地図用サーバー 24 にアクセスして、該当する実況映像又は地図をオンラインで取り出して、それらを LCD 21 に表示させる。

また、制御部 23 は、ユーザーが自分が現在居る現在地点から進行方向に向かう方向で且つ最も近くのある場所にある実況地点の実況映像であって、その進行方向に向かって見える実況映像を表示せよと指令したときは、前記 GPS 受信機 22 及び進行方向入力部 26 からユーザーの現在位置及び進行方向を座標データ（緯度データ及び経度データ）及び方向データとして受け取り、その座標データ及び方向データに基づいて、該当する前記各実況地点の映像入力装置 25 にアクセスして、オンラインで該当の実況映像の提供を受けて、LCD 21 に表示させる。なお、この場合の、前記制御部 23 が前記映像入力装置 25 から該当する実況映像の提供を受ける方法としては、従来のインターネット用のブラウジング・ソフトウェア（閲覧ソフトウェア）などによりこの各地の映像入力装置 25 にそれぞれ直接アクセスして取り込む方法と、前記映像入力装置 25 に対して該当する実況映像データを電子メールに添付したファイルとして送信してもらうように依頼してその送信により受け取る方法など、様々な方法が有り得る。

【手続補正 17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

なお、ここで、本明細書で開示した諸発明の中で、本願の特許請求の範囲に記載していない発明について、その効果を説明しておく。

(1) 本明細書で開示した発明による実況映像提供システムによれば、ユーザーは、地図を見ながら、例えば希望の地点をポインティングデバイスで指定する（例えばマウスでクリックする）だけで、その地点の今の現時点の状況を実況映像で見ることができる。また、ユーザーは、いちいちポインティングデバイスで指定しなくても、予めコンピュータプログラムで実況映像を希望する複数の地点の地点識別データを順次入力するようにしておけば、コンピュータにより次々と希望する地点に対応する実況映像を表示させることができる。よって、ここでも、ユーザーは地図を見ながら、実際には行っていないのに実際に行っているのと同じ感動を得られる「バーチャル・トラベル（仮想旅行）」を実現できるようになる。

また、例えば、全世界の地図から全世界の各地の実況映像をみながら、全世界のユーザーが一つの宝を探していくというような、コンピュータ通信ネットワークの世界の中での「宝探し」ゲームを世界中で同時に競うことも可能になる。

(2)また、本明細書で開示した発明による実況映像提供システムによれば、ユーザーは、ある地点の実況映像を見ながら、その実況映像の識別データから、対応する地図上の地点を表示させることができるので、ある実況映像を見て、その実況映像が見える場所が地図上のどこなのか（どういう地名・施設名なのかなど）を、容易に知ることができるようになる。

(3)また、本明細書で開示した発明による実況映像提供システムによれば、ユーザーは、自分の希望する文字列等により構成される検索データを入力することにより、その検索データに対応する一つ又は複数の地点の実況映像を、その場でリアルタイムに見ることが可能になる。特に、遠隔の複数の地点における今この瞬間の実況を映像でリアルタイムに順次見ることができる「バーチャル・トラベル（仮想旅行）」を提供できるようになる。

(4)なお、本明細書で開示した発明において、前記各実況映像を特定するための実況映像識別データを、前記映像入力手段が設けられた各地点を示す位置データとその映像入力手段が撮影した方向を示す方向データとから構成するようにすれば、同じ地点でも、見る方向によって異なる実況映像を提供できるようになり、「生の現場」をより詳細にリアルタイムに再現できる実況映像を提供できるようになる。

(5)また、本明細書で開示した発明では、前記表示手段に表示された実況映像の中のユーザーが指定した部分に対して他の部分と区別するためのマーキングをするためのマーキング手段を備えることにより、実況映像（動画でも静止画でもよい）の中のある部分（例えば、特定の建造物、橋、道路、河川、公園など）のみをマーキングできるので、実況映像を自分の目的に応じて見やすい形に加工できるようになる。

(6)また、本明細書で開示した発明において、前記映像入力手段に、その地点において発生している音声をリアルタイムに入力する手段をも含ませ、これらの入力された音声をそれぞれリアルタイムに無線又は有線に取り込む（インターネット用ブラウザによる閲覧する場合や通信ネットワークにより送信させる場合などを含む）ことにより、ユーザーは、実況映像（現場の生の映像。動画又は静止画）だけでなく、「現場の生の音声」をも併せて知ることが可能になる。

(7)また本発明では、さらに、前記映像入力手段の近傍に備えられ、匂いセンサと、この匂いセンサからの信号を匂いデジタルデータに変換する手段とから構成され、前映像入力手段の設置された地点又はその周辺の匂いを入力するための匂い入力手段と、この匂い入力手段からの匂いデータを、その匂いに近似した匂いを発生させるための芳香剤調合データに変換する手段と、前記表示手段の近傍に備えられ、前記芳香剤調合データから芳香剤を調合して所望の匂いを発生させる匂い発生手段と、を含むようにすることにより、ユーザーは、前記の実況映像と実際の音声だけでなく、現場の実際の匂いをも、リアルタイムに遠隔地において感得することができるようになる。

(8)（当初明細書の段落 0 0 0 7 の内容を 2 0 0 9 / 6 / 1 付け補正によりこちらに移動したもの）

本明細書で開示した発明では、ユーザーの推測現在位置を G P S 受信機などの現在位置推測手段（現在位置特定手段と呼ぶこともある）により求め、この「求められた推測現在位置に対応する実況地点の実況映像」をオンラインで取り出して表示するようにしている。

したがって、ユーザーは、例えば、次のような使い方が可能になる。例えば、自分が車両などに乗って移動しているとき、G P S 受信機からのデータにより自分の「推測現在位置」を求めて、その「推測現在位置に対応する地図上の地点」を地図画面上で求めて見る（このためのシステムは、従来より、自動車用の目的地までのルートの地図探索・運転案内システムとして実用化されている）。また、同時に、ユーザーは、通信ネットワークを介して該当する映像入力手段にアクセスし、前記の「推測現在位置に対応する地図上の地点」に対応する実況映像を、オンラインで取り出して画面上に表示させて見る。これによ

り、ユーザーは、目的地へのルートに記載した地図を見ながら、地図上に表示されている推測現在位置（GPS受信機により計測されるユーザーの推測現在位置が画面の地図上に矢印などで表示されるシステムは、自動車の運転案内システムとして既に多数市販されている）と実況映像とが一致しているかどうかを確認し、一致していれば、GPS受信機のデータから得られた「推測現在位置」が計測誤差なく正しいことを確認できる。また一致していなければ、GPS受信機のデータから得られた「推測現在位置」が間違っていることが分かる。

すなわち、ユーザーがGPS受信機からの推測現在位置に基づいて地図データベースから推測現在位置を含む所定領域の地図を読み出して表示し、その表示された地図上の「推測現在位置に近い一つ又は複数の実況地点の実況映像」をオンラインで取り出すようにすれば、GPS受信機からの「推測現在位置」が正しいかどうかをユーザー自身が確認できる。すなわち、従来より存在しているGPS受信機を利用して、GPS受信機からの「推測現在位置」（緯度データと経度データの座標データ）に基づいて地図データベースから推測現在位置を含む所定領域の地図を読み出して表示し、その表示された地図上に表示された「推測現在位置（座標データ）又はそれと近い地点の実況映像」をオンラインで取り出すようにすれば、GPS受信機からの「推測現在位置」が計測誤差などが無く正しいものかどうかを、確認することができる。つまり、「表示された実況映像」が「ユーザーの現在の位置から実際に見えるもの」と一致していれば、GPS受信機からの[推測現在位置]は正しいものと判定できる（従来は、ユーザーは、地図だけでは、GPS受信機による現在位置が正しいかどうかを自分で確かめることが困難だった）。

また、本明細書で開示した発明では、前記映像入力手段は、前記各実況地点から複数の方向に向かって見える映像を撮像するものであり、前記各実況地点を互いに識別するための実況地点識別データは、前記映像入力手段が設けられた各実況地点の位置を示す位置データとその映像入力手段が撮影する方向を示す方向データとから構成されており、前記現在位置特定（推測）手段は、ユーザーの現在位置を特定（推測）する手段とユーザーの進行方向を特定する手段とを含んでおり、前記実況地点識別データ選択手段は、前記現在位置特定（推測）手段により特定（推測）されたユーザーの推測現在位置（緯度データ及び経度データによる座標データなど）及びユーザーの進行方向（東西南北など）に基づいて、ユーザーの「推測現在位置に（最も）近い実況地点」を示し且つユーザーの進行方向に（最も）近い方向の実況地点識別データを選択するものである。よって、車両などで移動中のユーザーは、画面に表示された「地図上の自分の推測現在位置（GPS受信機からの自分の推測現在位置が矢印などで表示される）」を見ながら、同時に、前記GPS受信機からの「推測現在位置に対応する地図上の地点を示す実況映像」を見ることができ、「推測現在位置に対応する地図上の地点を示す実況映像」と「自分の位置から実際に見える風景」とを照らし合わせて、GPSにより計測された「推測現在位置」が本当に正しいかどうかを確認することができる。